

## 当院の安全(セキュリティ)対策について (ご協力のお願い)

平成30年5月7日(月)より、新病院棟1号館の全館運用が始まりました。これを機に更に安全で安心な医療環境を提供できますよう、条件整備を進めて参りました。

医療機関を対象としたテロ対策については、国による指針策定の流れに沿って、当院では正面玄関がオープンする朝7時45分以前の院内への入場は制限することといたしました。

医療機関は不特定多数の人が集まる施設として、テロの標的(ソフトターゲット)になり得ます。万一テロが発生いたしますと、来院の方が必要な治療を受けられなくなるなどの事態も想定されることから、特にオリンピック・パラリンピックを控えて、競技会場周辺の医療機関に対しては、テロ対策の徹底を図るよう、政府機関から強い要請がありました。

当院としましても、当院施設への入場、退場の管理を強化することが不可避との判断に至りました。今後当院への様々な訪問者やご来院の方々の増大を念頭に置きますと、防犯、防災上の考え得るあらゆるリスクに耐えうる施設環境や条件整備をこれまで以上に進める必要がございます。

患者のみなさまに万一急変が生じた場合であっても、迅速に適切な対応ができることが何より重要です。病院スタッフが揃っている時間であれば、即座に対応ができます。そうした時間帯に極力みなさまをお迎えできるよう、入場時間をコントロールする運用とさせていただきます。不審者の侵入も万難を排して防がなければなりません。病院スタッフの配置が間に合わない、希薄となる時間帯を少しでも避けることにいたしました。

早い時間帯にご来院を希望されるみなさまには、様々なご都合や事由がごありだと拝察いたします。ご不便をおかけするかもしれませんが、何卒事情をご理解いただきまして、正面玄関がオープンする朝7時45分以前に、ご来院されることは避けていただきますよう、伏してお願い申し上げます。

同時に、みなさまにとって慶應病院における外来診療を一層円滑なものにすべく、各診療科における診療枠や各種検査の望ましいあり方について、鋭意検討を進めて参ります。

今後とも、当院の医療の安全安心が最大化され、適切に運用されますよう取り組んで参ります。みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

慶應義塾大学病院  
病院長 北川 雄光